

よこはま2002 Vol.7

NEWS

発行：2005.7.2.

第三回定期総会を開催しました

第三回定期総会が6月19日（日）かながわ労働プラザ（石川町）多目的ホールにて開催され、昨年1年間の活動を振り返るとともに、3年目に向けての決意を新たにしました。また今回は、ロビーにこれまでの活動の写真を展示し、ご希望の人には実費を頂いて後日お送りすることも実施しました。

第1部 定期総会

総会は会員数383名のうち、出席者66名、議決権委任状を頂いた欠席者222名で有効に成立。議長選出に次いで、新井代表の退任挨拶があり、その後16年度活動報告・会計報告と続き、世話人メンバーの紹介のあと、今期より選任された政藤新代表から本年度活動計画・会則改正、会計から予算案の提示があり、承認されて閉会となりました。「あかいくつバスガイド」活動報告の際には会員が登場したNHKニュースやTVKの番組ビデオなども上映されました。実際にバスに乗ってみたいくなった人も多いのではないのでしょうか。質疑応答では会員の1名から会計報告などの事前配布の要望が出されました。来年度の課題とさせて頂きたいと思います。世話人メンバーにも今年から3名が加わり、ますますパワーアップ、新体制のもと、皆さんの期待に応えられるよう一同頑張っていきますので宜しくお願いします。

【寄付について】 総会の受付に設けた活動資金の寄付金箱には、総額41,000円が集まりました。有効に使わせて頂きたいと思います。この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

新役員と世話人の紹介

代表	政藤英義	
副代表	野崎美智江	村田博
会計	渡邊修	
会計監事	前田正一	宮崎美恵子
事務局長	長山秀雄	
事務局	新井雅夫	金平三雄
世話人	荒井洋一	石川恵二
	津久井よし子	長井聡子

第2部 懇親会

懇親会は同じビルの9階レストラン「味彩」で開催、59名が参加しました。同窓会のような雰囲気、活動写真のスライドを見ながら話が弾み、活動に参加された会員の生の感想もたくさん聞くことができました。横浜市スポーツ振興事業団から感謝の気持ちで提供された景品の抽選会で盛り上がりはピークに。進行役の津久井さん・小川さんの迷コンビぶりも笑いを誘っていました。ただ直前や当日キャンセルされた方が10名以上おられたのが残念でなりません。来年はもっと多数の参加をお待ちしています。

左は総会、右は懇親会風景。今後の活動に向けて、気持ちも新たに3年目のスタートです。



野崎美智江	政藤英義	村田博	山田強	渡邊修
川和啓二	金野美千代	白井正一	山本裕美	柚木めぐみ

◎ 今後の活動予定 ◎ カレンダーにチェックしてくださいね!

今年もいろいろなボランティア活動を行ってきました。総会も終了して一息ついたところで、秋から初冬にかけての活動をお知らせします。

- ① 10月23日（日）「エコー・ウォーカソン2005」
毎年活動を行っているイベントで観光ボランティアと案内誘導ボランティアの募集があります。
- ② 11月26日（土）・27日（日）「新横浜パフォーマンス」
昨年よりボランティア活動を新横浜町内会から依頼されており、今年のテーマは「日本におけるドイツ年」です。
- ③ 12月18日（日）「FIFAクラブワールドチャンピオンシップ トヨタカップジャパン2005」
同大会の3位決定戦（16時20分試合開始）及び決勝（19時20分開始）が日産スタジアムで開催される事に伴い、昨年同様に新横浜駅前での案内誘導及び清掃などの自主活動を考えています。

この他にも、まだ日程は決定していませんが各国大使館対抗フットサル大会などの催しがあります。各活動ごとに詳細が決まり次第お知らせしますのでよろしくお祈りします。

W杯まであと1年!

いよいよドイツ大会まで1年を切りました。日本代表も世界一番乗りで出場を決めてくれました。またあの興奮の日々がやってくると思うとワクワクしませんか？4年前の今頃は私たちの研修も始まるころで、胸をときめかせていましたね。今はドイツに行きたい！と思っている人もたくさんいると思います。市長の言葉にもありましたが、W杯のボランティア精神を脈々と受け継いでいくことが私たちの使命だと感じています。W杯は私たちの原点。あのときの感動を思い出して今後の活動に向かっていきましょう。

よこはま2002の活動状況と要望を市長に伝えました

【報告者 佐藤誠さん】

4月5日に新井代表、政藤副代表、それに事務局の野崎さん、村田さんと私の5名で中田市長を訪問して来ました。市長とはこれまでに、1月に開催されたピアノパラリンピックの開会式前に簡単な自己紹介とご挨拶をしたことがありました。更に3/26のあかいくつバス運行記念セレモニーの後、新井代表と共に少しお話しする機会があり、会の活動状況を簡単にご説明し、会報(6号)と会の紹介パンフレットをお渡ししたことがきっかけで面談が実現しました。

のっけから、よこはま2002の活動を評価しているとの言葉に始まり、市長の熱のこもったお話と、会員数や構成は？ボランティアの喜びとは何か？などの問いかけとそれに対するやり取りで、30分以上に亘ってお話をすることが出来ました。以下、市長の発言の要旨です。



よこはま2002の活動を市長にアピールしました。

- よこはま2002の活動を会報とパンフレットで知り、非常に先駆的なことであると高く評価している。
- 公共サービスは全て行政がやるというのは、財政面からも、きめの細かさからいっても難しい。従って民間の活動が重要であり、ボランティア活動による地域の活性化にも興味がある。

- 2002年のワールドカップは前の高秀市長が誘致して準備を進めたものであり、自分は開催時にたまたま市長であったというだけで、個人的な充実感はいまひとつだった。むしろ、この時にボランティアをしたよこはま2002の活動が脈々と続けられていることの方が重要に思える。よこはま2002のような存在があるからこそ、やって良かったと実感している。
- よこはま2002の活動を先細りにしたくないし、むしろ希望を聞いて、横浜市として協力できることがあればやっていきたい。要望を出して欲しい。
- 「どんどん考えましょう。皆さんが活動して行けるフィールドを作るのが横浜市役所の役割だから、大いにやって行きたいと思います。」(結びの言葉)

裏話を一つ。2002年7月に大さん橋ホールで行った解団式は、居心地が余り良くなかったそうです。市長に就任したのがW杯の始まる直前で、その実施に対して自分が貢献していないという気持ちが強く、高秀前市長に出て頂きたいくらいだったそうです。会談のあと、訪問者5名で要望をまとめ、いつもお世話になっている、横浜プロモーション推進事業本部の茂木課長経由で市長に提出しました。そのうちお答えを頂き、横浜市などとの協働体制を強めて、よこはま2002の活動が更に充実していくことを願っています。 ※文中の肩書きは4/5の訪問時のものです。

出発進行！
横浜市営バス「あかいくつ」ボランティアガイド



試乗研修の様子。みんな張りきっています！

3月28日から「あかいくつ」の運行が始まりました。桜木町駅前をスタートして港の見える丘公園まで横浜のベイサイドに並ぶ主な観光スポットを周遊する、ちょっと可愛いレトロ調の観光バスです。人気は上々、初日から満席で乗れないお客様も出るありさまで。よこはま2002は横浜シティガイド協会とともに横浜市交通局からそれぞれ1日2往復のボランティアガイドを要請され、おりからの観光シーズンとあって私たちの仲間約30人が連日交替でプロとは一味違う個性的なガイドを目指して頑張っています。よこはま2002の担当は桜木町駅前発12時、14時とその折り返し便です。皆さんご乗車の上声援をお送りください。

「横浜の歴史を紹介できるのが嬉しい」田中亜由美さん

いわゆる「ハマっ子」の私ですが、よく考えるところに横浜案内もできない始末。そんなときに観光スポット周遊バス「あかいくつ」のボランティアガイドの募集を知り無謀にも応募してしまいました。不安があったことも確か、でもここで一步踏み出し、これをきっかけにもっと横浜のことを知りたいという気持ちの方が大きかったように思います。このバスは4年後に控えた横浜開港150周年の記念事業のひとつとして運行されていますが、そんな事業に参加できることも市民として大変光栄ですし、同時にボランティアをしながら自分自身も横浜の開港やその後の歴史がよく理解できました。それをつたないながらもガイドとして横浜を訪れた皆さんにご紹介できることはとても嬉しいことです。また、このボランティアを通じてたくさん素敵な仲間にも出会うこともできました。知れば知るほど好きになる「横浜」をこれから多くの方々に紹介し、この思いを「あかいくつ」に乗せて少しでも乗客の皆さんと共有できることを楽しみにしています。

「どきどきしながらガイドに挑戦！」弓指篤二さん

2回研修に参加、分からない所は、自分の足で確認したり、マニュアルを使いやすいように編集しなおし、しゃべる練習も何回もやった。でも不安だらけのまま本番へ。どきどきしながら乗車。運転手へ挨拶して少し気も落ち着く。乗り口で「こんにちわ」と挨拶すると客の方がキョトン。日曜日で始発から満員、バスは否応なしに進んでいく。運転手が流すテープ放送とのタイミングが合わない。事前に練習した説明内容も棒読み、停留所の間隔が短い所はガイドを割愛した所が多かったのは残念。赤いくつの岩崎キミちゃんの話は3度も運転手からの放送が割り込み、同じ事を何回もしゃべる事になった。子供を抱いた夫婦が混雑時に乗車、思い切って「すみませんガイドです、安全のため座ってガイドするように指導を受けておりますので」と断ると、「気にしないで下さい」と親切に対応してくれてホッと胸をなでおろす。14時からのガイドは2回目のためかやや落ち着き、色々話しも出来たようだ。自己採点は30点ぐらい？目標はガイドの先輩たち。人生初めての体験、おじさんもやれたぞ！

＜あかいくつボランティア募集について＞ 募集案内は、これまで全員へ郵送またはEメールでお送りしていましたが、7月以降はこれまでに応募のあった方のみへ発送する「登録制」となります。今後、新たにあかいくつボランティアへ登録をご希望の方は、応募用紙をよこはま2002事務局へご請求ください。(郵送：〒231-0062横浜市中央区桜木町1-1-56みなとみらい21クリーンセンター5F横浜市市民活動支援センター気付レターケース番号044/FAX：045-223-2888レターケース番号044と明記/Eメール：fifa2002wcyokohama@yahoo.co.jp)

受付・ポイント・ゴール・観光ガイドで94名が活動

5月5日(財)横浜市スポーツ振興事業団主催の「ヨコハマ・ワールド・ウォーク2005」が開催されました。よこはま2002は協力団体として昨年末の企画開始段階から打合せに参画してきました。雨にたたられた昨年は参加者僅か100名でしたが今年は第2回目でもありPRも効いて1433名の参加者に恵まれました。僅か94名のボランティアによる受付、ポイント、ゴール、観光ガイドと広範囲にわたる活動だったので充分なお世話ができるのかと緊張しっぱなしで懸命に活動しました。しかし「天気よければすべて良し(?)」好天のもと成功裡に終わって喜びをかみしめました。



参加者に横浜の魅力を案内しながら歩く観光ガイド。

..... ボランティアの統括を、よこはま2002のリーダーと共に行って下さった八頭司篤氏からのメッセージです.....

「来年度も、ぜひ一緒にがんばりましょう」(財)横浜市スポーツ振興事業団 生涯スポーツ課 スポーツ支援係 八頭司篤 氏

当日は天候にも恵まれ、多くの方に参加していただき、無事に終わることができました。これもボランティアスタッフの方々のご協力のおかげだと思います。今回のイベントが大成功をおさめた要因として、世話人の方と事前に多くの打合せをして意見交換ができたこと、また、各ポイントをリーダーの方とまわって机の設置箇所等を確認したことなどがあげられます。そして多くのボランティアスタッフの方々が積極的にイベントに参加しようという意識を持っていたことではないかと思えます。残念ながら、一部に受身で用意されなければ動けない方、勝手な思い込みで動いてしまう方もあり、また、説明会での連絡事項が欠席者に届いていなかったなど、今後改善すべき点もあります。より良いイベントになるよう今後ともがんばりましょう。本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

「文明開化をテーマにガイドしました」

観光ガイド担当/荒畑隆夫さん

関内、元町、山手、中華街、MM21と回るコースを歩いたのは研修を含めて4回目ですが、今回は文明開化の名残を色濃く留めている前半の関内から中華街までに説明の重点を置き、開港当時の歴史的な背景を話しながら案内することにしました。8名の参加者のうち7人は横浜の方でしたが、みなさん「横浜のことをもっと知りたい」といって、歴史的な背景をからめた説明に興味を示してくれ、特に横浜開港資料館のタブの木にまつわる話には感慨深げでした。それでも、説明を多くするとウォーキングのペースが遅くなり、時間が掛かって、10キロをフルに回るのはかなりしんどく、参加者の皆さんもお疲れの様子で、大棧橋の屋上広場で弁当の昼食をとった後、残りのコースを回らず(既に必要なポイントは獲得しているので)、直接ゴールの赤レンガパークに向かうことになりました。横浜の歴史に興味を示す人が多いことから、今後の検討事項として、フルコースを歩く「簡単説明コース」や、「関内、山手地区歴史コース」などと名称を付けて、説明に重点を置く、いくつかのショートコースを作ったらどうでしょうか。

「知っているようで知らない横浜をご案内」

観光ガイド担当/島津直子さん

昨年に続いて、「ヨコハマ・ワールド・ウォーク」に観光ガイドとして参加しました。前回は・大荒れの天気で歩くのに苦労しましたが、今年はお天気に恵まれ、一安心。私達の組は桜木町駅前からスタート、ツアーの参加者は女性の仲良しグループ、ご夫婦、1人で参加された女性など、地元横浜の方が多かったのですが、やはり、知っているようで知らない横浜を歩いてみたいという声が聞かれました。「鉄道発祥記念碑」から、県庁前の「キング」(県庁舎)「クイン」(横浜税関)、「ジャック」(横浜開港記念会館)の横浜3塔が見えるポイントなど、まさに知らなかった横浜をご案内して、喜んでいただけました。又、中華街では、新名所「横浜大世界」がスタンプポイントでしたが、人の頭しか見えない大混雑にはびっくり、迷子にならないように緊張の一瞬でした。スタンプポイント12ヶ所のうち、9ヶ所のスタンプをゲットして、全員無事ゴールすることができました。



活動報告

「家族や子供達の思い出になるイベント」

ポイント担当/柴田丈夫さん

横浜ユーラシア文化館のチェックポイントには、午前10時早くも男の子が元気よく飛び込んで来た。スタンプカードにスタンプを押すと「ありがとう」と言ってお父さんと一緒に次のポイントへと走って行った。小さな女の子連れの若い夫婦に、「がんばってね」と声をかけると「ありがとうございます」と可愛い返事が返ってくる。年輩のご夫妻は「次どこを廻ろうか」と楽しそうに話合っている。車椅子に座ったご主人を押す奥さんは「ゆっくりコースを廻ります」とうれしそうに話しかけてこられた。参加者が「ご苦労様」と挨拶してくれたり、次のポイントに向かう若い参加者に「がんばって」と声をかけると、「ありがとう」と笑顔で返事が返ってきた。昨今、家族の行動がバラバラ、親子、夫婦のトラブルのニュースを知るたびに「これから日本はどうなるのか」と不安になっていた73歳の私は、ウォークに参加している人達を見て「日本も大丈夫」と一寸安心したのはオーバーかな?子供の日のヨコハマ・ワールド・ウォークは、家族・友人と参加して楽しみながら一緒にゴールに向かう、参加者の達成感と子供たちの「楽しかった思い出」を創る機会のある場であると思うので、ぜひ毎年続けることを願います。できれば、このイベントを横浜・神奈川だけでなく、全国から広く参加してもらえてYOKOHAMAの良さを知ってもらうようPRできればと思う。また、今年のチェックポイントはそれぞれ歴史がある文化施設だったので、これをきっかけに、参加者がリピーターになってくれることを期待したい。

「たくさんの方と接する絶好のチャンス」

ポイント担当/小川公恵さん

昨年のような荒天にだけはならないでと祈り続けた5月5日、素晴らしいウォーキング日和。私のポイントはJICA横浜海外移住資料館。私自身初めて行った場所でしたので、参加者が到着する前に一通り見学させて戴きました。10時半を過ぎた頃から小学生のグループがやって来て、その後、カップル、バギーを押した家族連れ、元町や中華街のお土産の袋をたくさん持った熟年のご夫妻は「さあ後はゴールのみ」と言っていて、皆それぞれ心地よい汗を流しながら楽しそうに笑みを浮かべ、頑張ったという満足感が感じられました。スタンプを押す私の顔も自然に緩みっぱなしだったと思います。いつもは静かな資料館も水分を補給する方々でソファも満席、400人余りの方々が展示を見て回られたとか。とても良かったと思っています。老若男女を問わず大勢の方と接する事が出来る場所に居られたのは、私にとっても大変なプラス。何はともあれお天気に恵まれた事に感謝、感謝。皆さんありがとうございました。

新企画、好評でした！

観光ガイド研修&お花見イベント



好天に恵まれた4月3日(日)、「観光ガイド研修&お花見イベント」を行いました。観光ガイドを務めたのは、これまでのガイド経験者など7名。参加者は、「今後の活動で観光ガイドに挑戦したい!」と意欲を燃やすよこはま2002の会員など総勢42名でした。コースは「ヨコハマ・ワールド・ウォーク」と「あかいくつ」の活動に役立つように、2種類のルートを設定してガイドが案内。今後ガイドを希望する皆さんは、先輩ガイドの説明を聞きながら、メモをとったり、質問したり、なごやかな中にも真剣な表情でした。また、ガイドを務めたメンバーも、参加者からの質問やアドバイスで新しい知識が増えるなど、いい勉強の場になりました。午前中しっかり歩いた後は、掃部山公園で賑やかにお花見を開催。まだ桜は蕾でしたが、お酒も入ってお花見の参加者35名で楽しく盛りあがりました。今回は準備不足の部分があったものの、新しい試みを実施できて、ボランティア活動の充実につながったことがうれしい成果です。

私、こんなことやってます。

会員のみなさん個人のボランティア活動をご紹介

<スペシャルオリンピックス冬季世界大会に参加>

2月26日から1週間にわたって長野で行われた「スペシャルオリンピックス冬季世界大会」(知的発達障害のある人たちの国際スポーツ競技大会)に、ボランティアとして参加したよこはま2002会員の加門さんによる活動レポート!

通訳をはじめ、多岐にわたる活動を行いました。

加門正行さん

今回は2月の27日と28日の午前中までクロスカントリー場で活動を行い、さらに28日の午後から3月の5日までシェラリゾートホテルにて活動しました。クロスカントリー場では駐車場で車の駐車誘導をしました。活動中、朝は寒いものの幸い天候にも恵まれ、午後に日が差した時は結構暖かかったです。シェラリゾートホテルではDSD班に所属し主に通訳として活動しました。DSDの業務は主にスペシャルオリンピックス組織委員からの重要事項の書類をホテルに宿泊している選手団に伝えること、選手団の要望の受け付けと処理、食事の手伝い、国際電話を通訳し選手につなげる事、FAX、コピーサービス、洗濯物の受付、忘れ物の受付、さまざまな苦情処理など多岐にわたりました。DSDボランティアは一日に6人から7人がホテルに常駐し、各選手団総勢200人以上からの要望を処理しました。選手がホテルにいない競技中は暇なもの、朝と夕方は極めて多忙。活動は夜中もあり、電話でフロントに呼び出されて通訳を行いました。また競技後の選手がメダルを首にかけ嬉しそうにホテルへ帰ってきた時はDSDの皆が拍手で選手を迎え私たちもすごく嬉しかったです。また食事の手伝いで体が不自由な選手の食事を運ぶ手伝いをした時、選手に笑顔が浮かべながらありがとうといわれたときは私も嬉しくなりました。苦情処理など説明にいやな思いもしましたが貴重な経験をさせていただきました。

ご寄付の報告

ありがとうございます

B1409畠山美恵さん、B2002田中久治さん、C0004平野住澄さん、B1211加藤政子さんより切手を、また、A1308小林華さんより現金のご寄付を頂きました。会員の皆さんへの通信連絡、会の運営に有効に使わせていただきます。ありがとうございます。切手については、額面の大小は問いませんので、ぜひ皆さんにもご寄付をしていただいて会の経費節減にご協力を宜しくお願いいたします。

世話人会を見学に来ませんか？

世話人会の定例会議は毎月1回、原則として第4水曜日に開催されています。イベントの準備は数ヶ月前からいろいろと議論を重ねて行っています。若い方には社会勉強になることもたくさんあります。ぜひ一度のぞいてみてください。(耳寄りなサッカー情報が手に入ることも!?)

今後の開催予定

- ★日時 7月27日(水)・8月24日(水) 19時~21時
- ★場所 横浜市社会福祉協議会 ボランティアセンター
8階 ボランティアコーナー (桜木町駅前)

※見学希望の方はあらかじめ事務局もしくは世話人までご連絡ください。

編集後記

「よこはま2002」の会も発足以来3年目を迎えようとしております、そして、私どもの活動も軌道に乗ってきました。その活動状況を皆様にお知らせするニュースレターも今回で7号となりました。また、活動記録を分かりやすく紹介するために、写真を撮りアルバムにまとめてホームページに掲載しています。皆様、是非ホームページでご確認下さい。これからも楽しい活動写真を撮り続けていきます。また、皆様からの投稿写真も大歓迎です。事務局の方にお寄せいただければ幸いです。

発行 / 2002ワールドカップ横浜ボランティアの会

〒231-0062 横浜市中区桜木町1-1-56

みなとみらい21クリーンセンター5F 横浜市民活動支援センター気付 レターケース番号044

FAX(045)223-2888 レターケース番号044 専用電話はありませんのでご了承ください

[E-mailお問合せ] fifa2002wcyokohama@yahoo.co.jp [URL] http://wcyokohamavolunteers.hp.infoseek.co.jp/

よこはま2002